

2 年次、探究型学習成果発表会

▼12月16日（水）4～5校時：発表会、6校時：ふりかえり

▽ほぼ1年間をかけて取り組んできた2年次の研究について、成果発表会を行いました。山形県内ではコロナウイルス感染症が拡大傾向にある状態のため、残念ながら外部公開を取りやめ、時間も短縮しての実施となりました。

▽午前中に予定していた公開授業も含め、一次案内を差し上げた中学校の先生方からは多数の参加希望を頂きました。この場を借りて改めて御礼申し上げます。

▽2年次の総合的な探究の時間で研究したテーマと、発表のスライド構成は以下の通りです。



大雪&換気で寒いため防寒着を着用しています。



今年度は個人研究も増えました。一人でよく頑張りました。

	2年次 一般 コース	2年次 探究 コース
テーマ	課題研究	地域理解発展研究
主な内容	テーマを自由に設定し、グループまたは個人で仮説立案や検証を行う。	生徒自身が地域の課題を見つけ、解決策を考え、提案し、実行する。
基本的なスライド構成 (10枚)	1. テーマと設計の背景 2. 先行研究の概要① 3. 先行研究の概要②と仮説 4. 一次検証方法 5. 一次検証結果	6. 二次検証方法 7. 二次検証結果 8. 考察（仮説の成立・不成立） 9. 解決策 10. 参考文献

▽どの研究も同じ構成で作ることで、作る際だけでなく発表を聴く際もわかりやすくなる効果を期待しています。なお、手持ちの追加資料も可能としています。たとえば

- ・スライドでは小さいグラフを大きく提示する
- ・スマートフォンやタブレットで写真や動画を見せる
- ・印刷したレシピを配布する

などの発表がありました。



発表者側から質問するなど聴衆との対話を心がけています。

▽中間発表会（Vol.15 参照）とほぼ同じ形態で実施しました。大きく異なるのは次の2点です。

- ・発表時間が8分（中間は6分）
- ・1年次生（と外部の方）にも発表する（中間は2年のみ）



一般コースのテーマは自由。筋トレがテーマのグループも。

▽講評では、次の3点についてお話しを頂きました。

1. データ活用の方法（データ羅列するだけではなく、データに考察を加える）
2. 多面的・多角的に見ること（一方向だけの研究が多い）
3. 「～しよう」という結論を「～してみた」にしてほしい（今後、考えただけでなく実行を）

▼6校時は教室に戻ってふりかえりを行いました。



個人研究の人も、個人研究者同士で評価を発表しました。

▽ふりかえりは、次のように主観→客観の流れで行いました。

①個人ワーク（発表会の自己評価）

ループブックをもとに自己評価する。

②グループワーク（グループ内評価）

- ・グループ内で個人評価を照合して全体での達成度とその理由を確認する。
- ・フィードバックシートを回し読みする。
- ・フィードバックシートの内容を参考にして、改めて全体での達成度とその理由を確認する。

③発表者としての感想

- ・発表の準備期間や本番において、力を入れた点・工夫した点
- ・自分の発表において、「よくできた」と思った点
- ・自分の発表において、「こうすればよかった」と思った点

▽この日は、発表会当日のふりかえりが中心でした。

次回は研究全体のふりかえりを行ったり、論文を執筆したりします。

研究活動もいよいよ大詰めです。

